

輝^き集人^{しゅう}

30日に京セラドーム大阪（大阪市）で開催する第41回社会人野球日本選手権大会を現役最後の大会にすると決めている。「和歌山箕島球友会の先輩たちが、誰も超えられなかった初戦突破の壁を最後に超えたい」。先月西武プリンスドーム（埼玉県所沢市）であった第40回クラブ野球選手権大会を制し、3回目のクラブ王者となったプライド

を胸に、静かに闘志を燃やしている。

鳥取県境港市出身。小学2年時に野球を始めた。二塁手として県立境

高で夏の甲子園に出場し

た。神戸学院大に進学後は4年の春、関西六大学

リーグのベストナインに選はれ、卒業後は兵庫県

警に就職。硬式野球部員警桃太郎」にも所属した

が、「全員が集まって練習出来るのが無かった。最後にもう一度本気で野球がしたい」と4力

月で退職して郷里へ帰っ

た。その後、大学の先輩で球友会の水田信一郎選

手(27)に誘われ入団した。球友会では、50分6秒

0の後足と遠投105分と練習で怠惰な雰囲気

に転向。3年目の今年には仕事と野球をきっちり両

立させている真摯な態度などが評価され主将を任

された。周囲を引っ張っていくタイプではないと

自覚し、最初は「自分は（主将を）支える側」と

辞退したが、2年間主将を務めた前任の大北匠央

さん(27)からの推薦もあった。仕事との両立で疲労が

たまった状態で練習に臨む選手も多く、「疲れた」

と練習で怠惰な雰囲気を漂わす選手もいたとい

う。だが「浦川が主将になって弱くなったと言わ

れるのは嫌だった。嫌われてもしゃあない」と割

り切ることにした。特に今年入団した新人8人に

は「仕事もちゃんと出来ない」と口を酸っぱくし

て声をかけた。大北さん

現役最後 初戦突破へ熱く

からは「ぶれるな。自分の思いは貫き通せ」と背中を押された。

初戦は31日。きょうのドラフト会議で指名が確

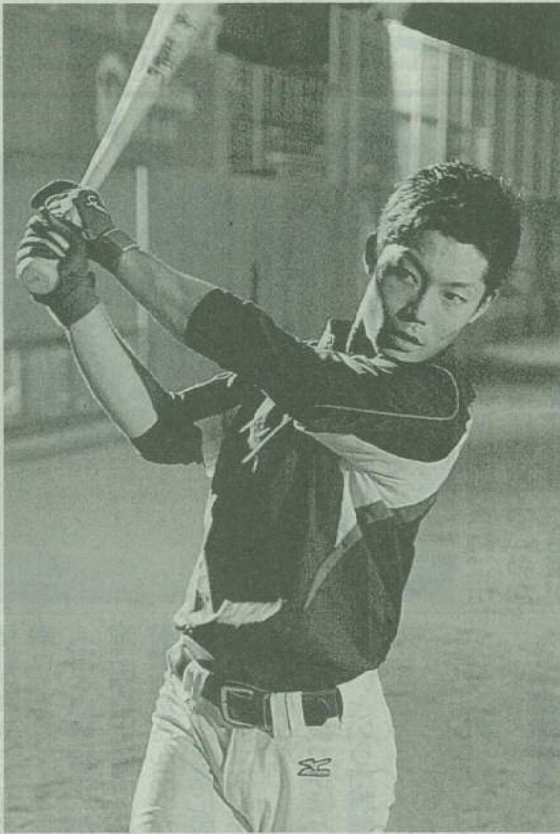
実視される右腕・横山弘樹投手を擁するNTT東

日本（東京）が相手だ。「試合はやってみないと

分からない。仕事との両立など覚悟を持って入団

し、やり抜いてきた思いをぶつけた」と最後の挑戦に向けてバットを黙

々と振り込んでいる。



社会人野球日本選手権に向けてバットを振り込む浦川主将

有田市のマッペン有田球場で

【高橋祐貴】